改訂

日本工業大学
高度金型人材育成講座

高度金型技術者のための

2024 年度金型スクール講座案内

■特設講座 2023 年度新設

5 月 27 日（月）～5 月 28 日（火）

描く、伝える製図入門

■金型入門・基礎ユニット（U1）

6 月 5 日（水）～7 月 5 日（金）

■金型実践ユニット(U2)

プレス金型（U2Y）

前半：10 月 7 日（月）～10 月 12 日（土）

後半: 10 月 21 日（月）～10 月 26 日（土）

プラスチック金型（U2X）

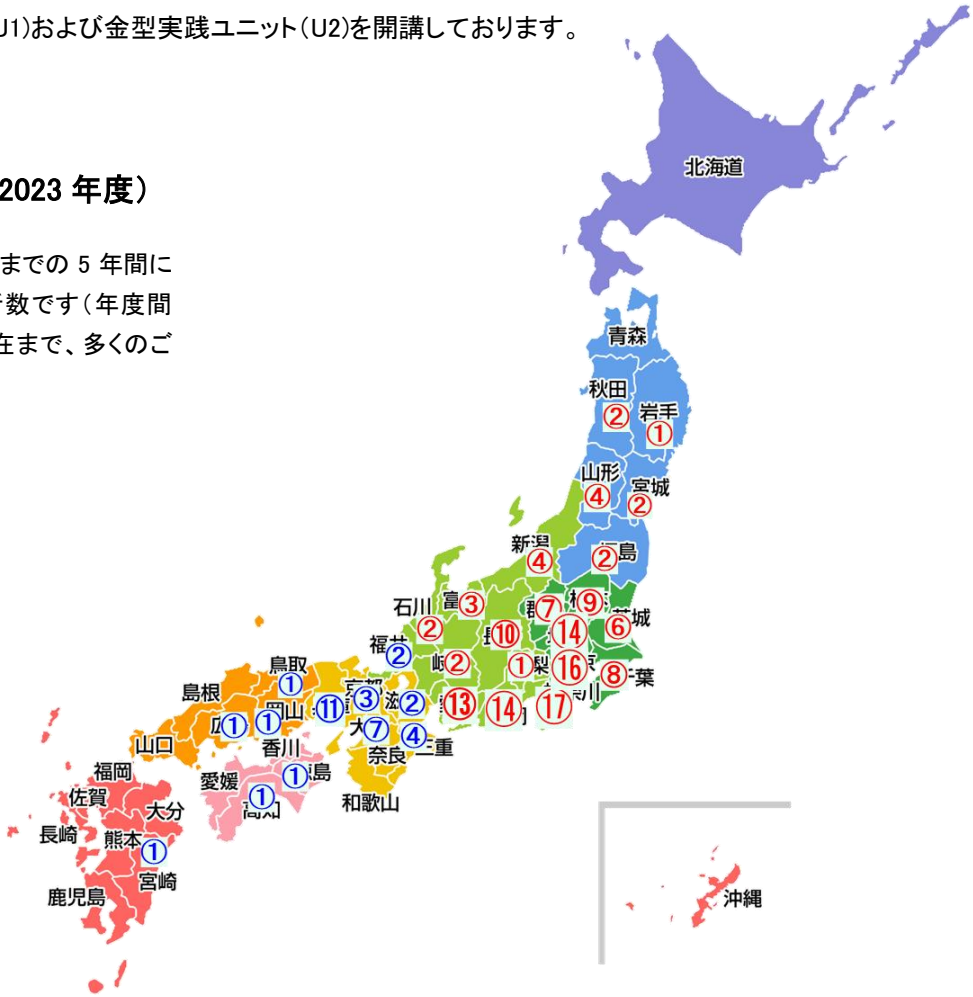
11 月 4 日（月）～11 月 16 日（土）

金型スクールの開講にあたって

日本工業大学では、2008～2010 年度の 3 年間にわたり経済産業省の産学連携パートナーシップ事業の支援を受けて、高度金型人材育成を目的としたカリキュラムの開発を、金型業界の皆様（経営～技術～教育）のご協力をいただきながら進めました。
この成果を受けて、本学では 2011（H23）年度より本学に金型教育事業部を設立し 3 つの教育ユニットを開講いたしました。技術者育成においては、現在、金型に関する充分な基礎力と実践的設計力、応用力等を身につけるために金型入門・基礎ユニット（U1)および金型実践ユニット（U2)を開講しております。

全国からのご参加（2018～2023 年度）

右図は 2018 年度から 2023 年度までの 5 年間に参加された都道府県別の事業所数です（年度間の重複除く）。コロナ禍を経て現在まで、多くのご参加いただきました。



担当講師陣（2024 年度・順不同）

・横田悦二郎（担当 U1）：日本工業大学専門職大学院技術経営研究科 客員教授 （社）日本金型工業会学術顧問
・大場治（担当 U1）：株式会社狭山金型製作所 会長
・田岡秀樹（担当 U1）：元型技術協会会長 前自動車メーカー技術者（ 金型技術戦略担当）
・足立達也（担当 U2Y）：達エンジニアリング有限会社（技術士 元金型企業経営者。生産技術者）
・藤井敏秀（担当 U2Y）：型研精工株式会社 大分工場 工場長
・伊藤英樹（担当 U1,U2X）：伊藤英樹技術士事務所（技術士）
・小泉英二（担当 U1）：元大手企業の生産技術者
・鈴木勲 （担当 U1,U2Y）：元大手企業の生産技術者（ものづくりマイスター 金型製作）
・中島次登（担当 U1）：元中央労働災害防止協会（労働安全コンサルタント・機械）
・加藤秀昭（担当 U1,U2X）：加藤技術士事務所（技術士）
・本間精一（担当 U2X）：本間技術士事務所（技術士）
・村上智広（担当 U2Y）：職業能力開発総合大学校 教授（博士（工学））
・村中昌幸（担当 U1,U2X）：村中技術士事務所（技術士）
・小野保夫（担当 U2Y）：元大手企業の生産技術者

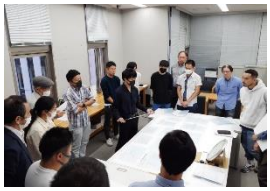
金型スクールの狙い

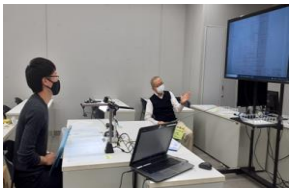
金型スクールでは基礎力を重視するとともに変化に対応できる応用力、実践力のある人材の育成を目指しています。
そのため U1 の金型入門および金型基礎ユニット、U2 の金型実践ユニットの座学では、製図を含む色々な知識を体系的に学ぶとともに、それら知識等を踏まえた金型設計演習を経て高度金型技術者として基盤を形成させます。

※図面は設計者と製造側を結ぶ唯一の共通認識の手段です。
金型スクールでは設計者の設計意図を正確、的確、わかりやすく伝えるための製図教育を重視しています。

主な学習内容と狙い（イメージ）

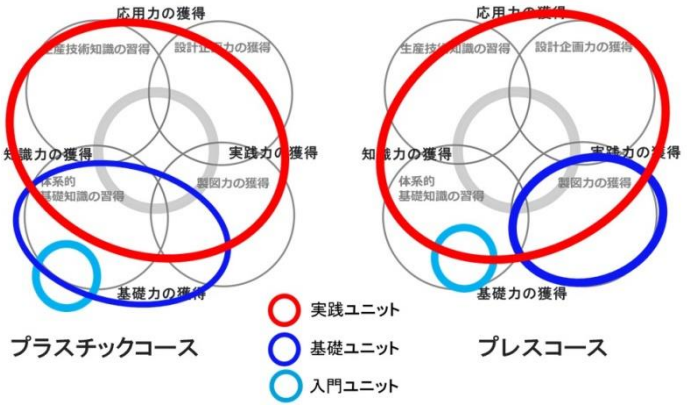
金型仕上げ演習
（入門ユニット）風景





基礎、実践ユニット
講座風景

コース別学習アプローチイメージ



金型スクールの特徴

●初心者向け「入門・基礎ユニット（U1）」と経験者向けの「実践ユニット（U2）」のレベル・目的に応じた 2 つのコース
●U1、U2 講座による 2 段階ステップ UP により高度金型技術者を養成
●2 週間（12 日間）にわたる集中講座と知識の定着性
●高度金型技術者として必要な幅広い領域の知識や技術を身につけるための系統的、総合的なカリキュラム
●基礎力を重視するとともに理論や数式、関連するデータ等に関する講義
●講義だけでなく演習、発表、見学等を入れた授業形態や科目構成
●企業 OB を中心とした経験と知識豊富な講師陣

開講スケジュールと科目

特設講座
5/27(月)～5/28(火)　●描く、伝える製図入門
対面授業

2023 年度新設

時間割は P9 に掲載

金型入門・基礎ユニット（U1）

	U1入門編		U1基礎編
プレス・プラスチック共通	6/5(水)～6/7(金) ※6/7は14：50まで ●金型技術者心得と価値創出 ●金型発注企業からみた必要とされる金型技術者、技術 ●金型ビジネス概論 ●金型の安全性と環境	プレス	6/7(金) 15：00~18：10 6/10(月)～6/15(土) ●プレス金型概論（6/7のみ） ●プレス金型設計・製図基礎の習得と組立図、部品図演習
	対面とオンラインによる複合授業		（6/7複合授業） 6/10～6/15対面授業
	7/3(水)～7/5(金) ●金型仕上げ演習 ※授業開始：7/3（水）13：20～	プラスチック	6/10(月)～6/15(土) ●プラスチック金型設計基礎 ●プラスチック金型設計演習
	対面授業		対面授業

金型実践ユニット（U2）

	（前半部）座学中心	（後半部）演習中心
プレス	10/7(月)～10/12(土) ●プレス加工の基礎 ●プレス金型の要素技術 ●プレス部品の生産設計 ●プレス金型設計基礎 ●プレス機械と周辺装置	10/21(月)～10/26(土) ●プレス金型摩耗・破損解析 ●プレス金型構想設計と金型設計演習
	U2プレスは前半部と後半部の間が1週間空きます	
	対面とオンラインによる複合授業（1部対面のみ有り）	対面授業
プラスチック	11/4(月)～11/9(土) ●プラスチック技術概論 ●プラスチック金型材料と熱処理・表面処理、加工法 ●プラスチック材料 ●成形不良発生要因とそのメカニズムおよび対策 ●実践プラスチック金型設計基礎（前半）	11/11(月)～11/16(土) ●実践プラスチック金型設計基礎（後半） ●実践プラスチック成形金型設計演習
	対面授業	対面授業

・科目内容の詳細については P4～P6 をご覧ください。

・2023 年度より特設講座「描く、伝える製図入門」を新設いたしました。本講座はプラスチック、プレスコースに関係なく参加できます。正しく、的確に、わかりやすく伝える製図スキルを身に着けることを目的としたトレーニング主体の講座です。

・基礎・入門ユニット(U1)は新しく金型設計に係る方向けのコースです。 内、金型設計や製図演習は、JIS 機械製図をもとに金型設計や金型製図の基礎を学びます。

・実践ユニット（U2）は基礎（U1）の受講者や設計知識のある方、現在,金型設計されている方で、更なる金型技術向上を目指す方向けです。

【オンライン授業について】

・オンライン授業は Microsoft が提供する TV 会議システムの「Teams」を用いて行います。

・複合授業では従来の対面授業かオンラインによる授業か、どちらかでご選択いただきますが、通学可能な方は対面授業でご参加いただきたくお願いいたします。

・受講にあたってはインターネット環境とパソコン（カメラ・マイク付き）等が必要となります。

※オンライン受講の場合、プレスコースの一部科目において、
出来れば準備いただきたい機材等がございます（計 10000 円程度）。
また通信テスト等も必要です。

・オンライン授業へのお申込みは、通信テスト等の確認作業の必要上　極力早めのお申込みをお願いいたします。

・受講ご希望の場合、本学より別途案内資料をご送付いたします。　P7 もご覧ください。

特設講座　　5 月 27 日(月)～5 月 28 日(火)

2023 年度新設

科目名	科目の目的	概要	日程	講師
描く、伝える製図入門 (現場で使える製図入門)	設計図面を正確に、わかりやすく描き、伝えるための製図基礎力形成とスキルの習得。	・JIS機械製図の理解 ・正しく、的確に、わかりやすく伝える製図とは ・製図基礎とスキル習得トレーニング	5/27 ～5/28 10コマ	鈴木

入門・基礎ユニット　U1　6 月 5 日(水)～7 月 5 日(金)

3.7 万円

金型入門ユニット(U1 プレス・プラスチック共通)				
・金型技術者心得と 価値創出	金型を取りまく時代、環境、顧客ニーズの変化に対する金型技術者の心得と、どのように価値を創出、提供していくべきかを学ぶ。	1.金型技術者に求められる知識、意識 2.時代や環境変化と金型技術の開発事例 3.金型の価値創出とは 4.これからの金型技術者心得	6/5 2コマ	大場
・金型発注企業から見た 必要とされる金型技術者 、技術	取りまく環境変化に対応し、新しいルールの中で、金型技術者や金型技術が担う重要な役割について伝える。	1.発注企業を取巻く時代動向、環境変化 2.破壊的なイノベーション 3.必要とされる金型技術者、技術	6/5 2コマ	田岡
・金型ビジネス概論	産業における金型の重要性や、日本を含む世界各国の金型事情、国際的な競争の現状等、金型の『これまで』と『これから』を伝える。	1金型とは、日本の金型産業 2.世界の金型事情 3.金型、金型企業・産業のこれから	6/5 ～6/6 6コマ	横田
・金型の安全性と環境	金型製作、あるいは成形やプレス加工現場における、労働災害の状況やその防止のための法律、安全規格、対策等について理解、自覚する。	1.職場の安全と環境 2.リスクアセスメント 3成形、プレス機械と安全	6/7 3コマ	中島
・金型仕上げ演習 (モノづくり原点体験)	金型技術者として、実際に鋼材を手で加工し、仕上げ、計測し、完成品化するまでの課程を実体験し、「モノづくり」の原点を学び、理解する。	1.金型仕上げの基本作業、けがき、穴あけ、やすり掛け等の機械、工具、加工方法を学び実体験(演習) 2.作業における各種計測機器の取扱いを学び、演習品の測定、評価を通じた技能習得	7/3 ～7/5 13コマ	小泉 鈴木

金型基礎ユニット　プレス金型コース(U1Y)				
・プレス金型概論	金型設計の基礎知識として、プレス加工や金型の仕組み、平板の被加工材から形状を得るという他の金型と異なることの理解、その為の製品図からブランクを展開し材料取りをすることの概要を学ぶ。	1.金型の基礎.プレス加工の基礎 2プレス加工用被加工材 3.プレス金型の特長・種類・構成・構造	6/7 2コマ	鈴木 小野
・プレス金型設計・製図 基礎の習得と 組立図、部品図演習	・金型製作のための図面構成やプレス金型特有の部品図の表現方法を知り、JIS製図法に準拠した製図法を学ぶ。 ・金型図面は設計者の企画、意図を線や図によって表し、製作や使用者関係者に、正確に、かつ分かりやすい表現が必要であることを学ぶ。 ・CAD作図の前段として手描き製図を体験し、製図技術を高める。	(製図演習) 1.プレス金型製図の概要 2.プレス金型製図の基礎 3.JIS機械製図の基礎 4.金型組立図製図演習 5.金型組立図から部品図への展開演習 6.金型組立図作品発表・講評	6/10 ～6/15 30コマ	鈴木 小野

金型基礎ユニット　プラスチック金型コース(U1X)				
・プラスチック金型 設計基礎	金型設計に必要となる全般的な知識(諸成形法、プラスチック材料、金型の機能・構造・材料、成形機械、成形品設計等)および機械製図の基礎を学ぶ。	1.プラスチック諸成形法 2.プラスチック材料 3.ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ成形金型 4.プラスチック射出成形加工 5.金型に留意した成形品設計	6/10 5コマ	伊藤
		機械製図基礎(JIS製図規定、寸法公差、はめあい公差、幾何公差など)および金型図面の見方	6/11 5コマ	
		プラスチック金型材料と成形機械	6/12 5コマ	村中
・プラスチック金型 設計演習	本演習前の機械製図や金型設計基礎の知識をベースに、課題の製品図に対してグループで金型構想検討を行い、続けて行う個人での金型組立図の設計・製図作業を通じて、金型設計の流れの理解と基礎的な図面作成スキルを習得する。	1.機械製図、金型設計基礎知識の確認 2.グループによる金型構想の検討 3.金型組立図の設計演習 4.まとめ・発表・講評	6/13～ 6/15 15コマ	加藤

コース(入門+基礎 1 式)受講料　:プレス金型　21.98 万円,　プラスチック金型　21.26 万円

(特設含む上記講座　税別、教材実費含む)

授業は 1 日 90 分授業×5 コマ　　時間割については P9 に掲載

※募集締め切り日:2024 年 5 月 20 日(月)　定員 20 名程度　　※金型仕上げ演習は最大受入れ定員が 16 名です。

※オンライン授業へのお申込みは通信テスト等の確認作業の必要上　極力早めのお申込みをお願いいたします。

※開講最低定員(5 名)未満の場合は開講を中止することもあります。

対面＆オンライン授業による複合授業

実践ユニット プレス金型コース U2Y 10 月 7 日(月)～10 月 26 日(土)

プレス金型コースにおいては座学と設計演習の間が 1 週間空きます

金型実践ユニット プレス金型コース (U2Y)				
科目名	科目の目的	概要	日程	講師
・プレス加工の基礎	プレス加工とその金型技術の基盤を構成する材料力学、塑性加工、金属材料特性、および、抜き、曲げ、絞りの各加工機構、加工特性と、その金型技術の基礎となる重要な知見を、講義・演習を通じて習得する。 さらに最近のものつくりから金型への課題を考察し、型の高寿命化の基礎を学習する。	1.金型とプレス加工 2.材料力学入門 3.塑性加工・金属材料特性入門 4.抜き加工の基礎 5.曲げ加工の基礎 6.絞り加工の基礎 7.各種プレス加工と金型 8.最近のプレス加工と型寿命の基礎	10/7～ 10/8 午後 8コマ	足立 藤井
・プレス金型の要素技術	金型材料、加工、組立、品質検査、熱処理、汎用・車用プレス材料等の金型に関する要素技術を学び、プレス金型設計のための基礎技術を取得する。	1.プレス金型の材料 2.金型部品の熱処理 3.金型部品への表面処理 4.金型部品加工と組立 5.汎用および自動車用プレス材料	10/8 午後 2コマ 10/9 7コマ	鈴木 藤井
		6.熱処理工場見学	10/10 2コマ	
・プレス部品の生産設計	金型設計のための製品図の読み方とデザインレビュー、製品図の生産設計の方法およびプレス部品への熱処理、表面処理、塗装、カシメ、溶接などの後工程の概要を学ぶ。	1.生産設計・生産技術の考え方 2.製品図の見方 3.製品図のデザインレビュー 4.プレス部品の後工程	10/10 3コマ	鈴木
・プレス機械と周辺装置	プレス機械の構造と加工精度の関係について測定データに基づきわかりやすく解説し、機械各部の見方を学ぶ。さらに、プレス機械の3能力とプレス加工との関係、金型とプレス機、周辺装置との関係を学ぶ。	1.プレス機械の構造特性 2.プレス機械とプレス加工 3.自動化システムと周辺装置 4.最新のプレス機械の紹介 5.プレス機仕様と金型設計の関係	10/12 5コマ	村上
・プレス金型の磨耗、破損解析	実際の金型部品やプレス部品の事例研究を通じて金型技術の重要な基本となる観察力、考察力のレベルアップを目指す。 素材の高強度化、鍛造加工との複合化に伴い、今の型技術に求められる型の高強度化、耐摩耗、耐破損の基礎を学ぶとともに、実際に破損した型部品事例の観察演習を通じ、実地に即した解析技術を習得し、型設計力、課題対応力の向上を目指す。	1. 破面観察の手法、進め方 2. 個別事例研究 3. グループ事例研究、討議 4. 事例解説、原因と対策のポイント 5. 型の破損・摩耗の対策まとめ 附. プレス部品の特性観察とスケッチによる表現の実際	10/21 5コマ	足立 藤井
・プレス金型構想設計と金型設計演習	金型設計演習では演習課題に対し学んだ知識を駆使して金型設計を行う。 金型の引き合い、受注から製作・試し打ち、顧客への納入、補修等のシステム全般及び品質、コスト、製造性、メンテナンスを考慮した金型設計のあるべき姿を学びプレス部品製作の重要性を知る。 金型製作のための材料、加工方法、処理等学んだ知識を活用し、金型部品を設計する力量を育成する。 顧客仕様に基づいた金型設計を行うための構想設計について学び、プレス金型設計の基本、抜き、曲げ、絞り型夫々の内容を理解し、概要設計を行い学びを深める。自身の課題目標に合った金型の設計を行い、作品を発表する。	【概要・基礎編】 抜き・曲げ・絞り金型設計概要とプレス金型構想設計 1.プレス金型設計の基礎 2.プレス金型の基本3型の設計 ・抜き金型について　・曲げ金型について ・絞り金型について 3.構想設計	10/11 5コマ	鈴木 小野
		【応用編】 1.製品図の設計検討 2.金型設計仕様書 3.生産設計の検討 (形状、寸法公差、加工限界、工程数) 4.金型構造設計 5.金型部品設計(加工性、精度、経済性、納期) 6.金型構造設計討議(設計評価) 7.設計作品発表・講評	10/22 午後～ 10/26 25コマ	鈴木 小野
	※「概要・基礎編」についてはオンライン受講が可能です。ただしそれだけの受講はできません ※演習においては講師と事前相談の上、課題の持込みが可能です。			

対面＆オンライン授業による複合授業

授業は 1 日 90 分授業×5 コマ　時間割については P9 に掲載

コース受講料 22.1 万円

(税別、教材実費含む)

※募集締め切り日:2024 年 9 月 20 日(金) 定員 20 名程度

※金型の摩耗、破損解析のみ受入れ定員が 16 名です。

※対面とオンラインによる複合授業において通学可能な方は対面授業でのご参加をお願いいたします。

※オンライン授業へのお申込みは通信テスト等の確認作業の必要上 極力早めのお申込みをお願いいたします。

※開講最低定員(5 名)未満の場合は開講を中止することもあります。

実践ユニット プラスチック金型コース U2X 11 月 4 日(月)～11 月 16 日(土)

金型実践ユニット プラスチック金型コース (U2X)				
科目名	科目の目的	概要	日程	講師
・プラスチック技術概論	プラスチック製品を実現する金型を中心として製品設計、材料、成形法・成形機、検査測定などのプラスチック技術を総合的に学ぶ。	1.素形材としてのプラスチックの価値(現状と課題) 2.熱可塑性樹脂の成形と成形機械・金型 (射出成形の応用および射出成形以外の成形法) 3.熱硬化性樹脂の成形と成形機械・金型 (ウレタン注型実習を含む) 4.プラスチック成形機周辺機器	11/4 5コマ	村中
・プラスチック金型材料と 熱処理・表面処理、加工法	プラスチック金型材料(鉄鋼、非鉄)と加工法、熱処理、表面処理を学ぶ。	1.プラスチック金型材料の要件 2.プラスチック金型用鋼の特性 3.プラスチック金型用非鉄金属材料 4.プラスチック金型加工技術 5.金型材料・部品の熱処理、表面処理	11/5 5コマ	村中
・プラスチック材料	射出成型を中心に使用される色々なプラスチック材料の特性や、その違い、実用上の留意点等について学ぶ。 代表的プラスチック材料の射出成形特性について学び、それらの知識を成形品設計や金型設計に活かすための総合的理解を目指す。	1.プラスチック材料の分類と属する各材料の性質、特徴 :熱可塑、熱硬化‥結晶・非晶‥成形材料〔一般、改質〕‥等) 2.改質材料について (作り方、添加剤による改質、フィラー充填材料、ガラス繊維強化材料、 ポリマーアロイ材料、バイオプラスチック‥等) 3.上記 成形材料の実用上の留意点、応用点、選定方法 4.代表的成形材料の射出成形特性、成形の留意点	11/6 5コマ	本間
・成形不良発生要因と そのメカニズムおよび対策	成形不良を起こさないためにはどうすべきかに焦点を当て、成形不良現象(形態)の把握から、その原因、メカニズムついて総合的な理解と、それを防止するための各種対応方法について学ぶ。	1.射出成型の基本 (成形機、金型、周辺機器、材料と成形条件) 2.成形条件設定の考え方 (予備乾燥、可塑化、射出、保圧、冷却、離型等の条件設定) 2.成形不良現象(形態)の把握と、その原因、メカニズム (銀条、樹脂焼け、未充填、ﾌﾛｰﾏｰｸ、ｳｪﾙﾄﾞﾗｲﾝ、ばり、残留ひずみ、 そり、ひけ、気泡、 断熱圧縮焼け、離型不良、寸法精度不良 等) 3.各種成形不良防止のための具体的対応方法 (成形材料、成形条件、成形品設計、金型設計からの対策)	11/7 5コマ	本間
・実践プラスチック金型 設計基礎	金型設計を行うにあたり、工程全体の流れ、要求される事項や留意点を総合的に学ぶ。 射出成形金型の機能と構造を理解し、金型初期検討、金型構想設計までの基礎を学ぶ。	1.プラスチックものづくりの全工程概観 製品設計、金型設計・製作、成形、試作、評価・検査、出荷 2.射出成形金型の基礎 機能・構造、PL、抜き勾配、成形収縮、成形不良 3.金型の初期検討 型開力・型締力、成形サイクルタイム、金型強度 4.金型の構想設計 モールドベース、ランナー、ゲート、金型温調、 突き出し、 エアーベント、アンダーカット処理機構	11/8～ 11/12 20コマ	伊藤
・実践プラスチック金型 設計演習	設計演習を通じて 金型設計を実施するための総合的な視点力、論理性、知識の定着化を図る。 前科目のプラスチック技術・金型材料・成形材料・成形加工・成形不良・金型設計基礎などの知識を基にしてプラスチック成形金型設計、製図演習を行う。 本演習では、与えられた製品図を基にグループで金型構想検討を行い、それを個人ごとに金型組立図の設計・製図へと展開し、最適金型設計の実践的な基礎力を身につける。	(STEP-1):全体およびグループ 1.機械製図、金型設計図面の解説と講義 2.グループによる金型構想討議、検討 ・製品図、金型設計仕様書の理解 ・キャビティ、コア金型構想 ・ゲート、ランナーシステム構想 ・突出し、アンダーカット処理構想 3.グループの金型構想成果発表、講評 (STEP-2):個人ごと 4.金型構想検討 ・グループ学習をベースに構想検討 5.金型組立図、設計製図(A3図面4枚) ・ 手描き製図による組立平面図、断面図 6. 金型設計製図の成果発表、講評	11/13～ 11/16 20コマ	加藤

コース受講料 22.1.万円

(税別、教材実費含む)

授業は 1 日 90 分授業×5 コマ　時間割については P9 に掲載

※募集締め切り日:2024 年 10 月 11 日(金) 定員 20 名程度

※開講最低定員(5 名)未満の場合は開講を中止することもあります。

受講費用

受講料と別途教材費が受講費用となります

ユニット名		総コマ数・単価（1コマ3600円）		受講料	別途教材費	備考
特設講座		描く、伝える製図入門 5/27～5/28	10コマ	3.6万円	1000円	－
金型入門 ・基礎ユニット	入門 ユニット	座学4科目 6/5～6/7	13コマ	4.68万円	1000円	テキスト代は4科目分一式 部分受講はできません。
		金型仕上げ演習 7/3～7/5	13コマ	4.68万円	7500円	金型仕上げ演習においては 演習用の材料費や消耗品代が含まれています。
	基礎 ユニット	プレスコース 6/7、6/10～6/15	32コマ	11.52万円	2500円	プレス、プラスチックコースとも 1式分テキスト代としていただきます。
		プラスチックコース 6/10～6/15	30コマ	10.8万円	2500円	
金型実践ユニット		プレスコース 10/7～10/12、 10/21～10/26	60コマ	21.6万円	全科目受講の場合 一式5000円 部分受講の場合 1科目 につき@1000円	プレス、プラスチックとも 6科目あります。
		プラスチックコース 11/4～11/9、 11/11～11/16	60コマ	21.6万円		

（消費税別途）

※教材費について
2021 年度から「金型仕上げ演習」においては 演習用の材料実費をいただいておりましたが、2024 年度より テキストの全体ページ数およびカラーページ部の増加にともない、テキストにおいても印刷実費として教材費をいただくこととなりました。 何卒ご理解いただきたくお願い申し上げます。

※ご注意：開講 1 週間前からはキャンセル料がかかります（事務手数料として受講料の 1 割）。

【オンライン受講に際して】
※オンライン受講の場合、プレスコースの一部科目において
出来れば準備いただきたい機材等がございます（計 10000 円程度）。
また通信テスト等も必要です。
※事前に本学からテキスト等を送付いたしますが、その実費のご負担をお願いいたします（着払い等）。
※受講ご希望の場合、お問い合わせください。

ロジクール ウェブカメラ
C920n, C922n

ウェブカメラ用アームスタンド

科目単位の受講について

科目単位での受講も可能です。教材費を除き、1 科目を受講されるとして、その総コマ数×3,600 円が科目受講料（税抜）となります。
※本パンフレットの P 10 の申込み用紙において申込人数が記載されている科目が受講可能です。

＜日本金型工業会ご加盟の場合＞
ご加盟の企業は受講料の 10%の割引が適用されます。申込時にお伝え下さい。

受講料の公的補助

厚生労働省による「人材開発支援助成金※」の利用可能性があります。
各都道府県労働局の助成金担当部署へお問合せください。
（※採用 5 年以内かつ 35 歳未満の方などの場合⇒特定訓練コース・若年人材育成訓練として経費助成や賃金助成等）
ご注意：申請は訓練開始日から起算して 1 ヶ月前までに所定機関への「訓練実施計画届」等の書類提出が必須となります。申請を検討される企業様は早めに各都道府県労働局の助成金担当部署にご相談下さい。

修了認定証

入門ユニット、基礎ユニット、実践ユニットの全科目受講者には
一般社団法人日本金型工業会より「修了認定証」が授与され、
日本工業大学より「修了証」が授与されます。

受講会場

金型仕上げ演習を除く全ての科目

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-5　　日本工業大学　神田キャンパス

金型仕上げ演習

〒345-8501　埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1 日本工業大学　機械実工学教育センター

金型仕上げ演習を除く全ての科目

金型仕上げ演習

問い合わせ・お申込み

お問合せは下記担当者に直接ご連絡か、日本工業大学　金型スクールのホームページを通じてご連絡ください。
お申込みについては P10 の申込書をスキャナー等で読み取り
info@nit-kanagata.com 宛にメールか、FAX（03-3511-7594）送信ください。
当校ホームページからも申込書のダウンロードが可能です。

担当者直通：金型教育事業部　東京事務所　秋元
Mail : info@nit-kanagata.com　　TEL：090-1997-7001　　FAX：03-3511-7594
金型スクールホームページ：https://www.nit-kanagata.com
金型教育事業部　東京事務所　所在地
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-5　日本工業大学　専門職大学院 7F

講座・科目スケジュール

特設講座	5/27(月)～5/28(火)
	描く、伝える製図入門 ①～⑩ (1時限～5時限授業)

入門・基礎ユニット

入門

日	6/5	6/6	6/7
曜日	水	木	金
1時限	金型技術者心得と価値創出①～②	金型ビジネス概論 ①～⑥	金型の安全性と環境 ①～③
2時限			
3時限	金型発注企業から見た必要とされる金型技術者、技術①～②		
4時限			
5時限			

日	7/3	7/4	7/5
曜日	水	木	金
1時限		金型仕上げ演習 ①～⑬	
2時限			
3時限			
4時限			
5時限			

※金型仕上げ演習は7/3、3 時間限目13:00～の授業開始です。

基礎プレス

日	6/7
曜日	金
1時限	
2時限	
3時限	
4時限	プレス金型概論①～②
5時限	

日	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15
曜日	月	火	水	木	金	土
1時限	プレス金型設計・製図基礎の習得と組立図、部品図演習 ①～㉚					
2時限						
3時限						
4時限						
5時限						

基礎プラスチック

日	6/10	6/11	6/12	6/13	6/14	6/15
曜日	月	火	水	木	金	土
1時限	プラスチック金型設計基礎①～⑮			プラスチック金型設計演習①～⑮		
2時限						
3時限						
4時限						
5時限						

実践ユニット

実践プレス

日	10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12
曜日	月	火	水	木	金	土
1時限	プレス加工の基礎 ①～⑧		金型の要素技術 ①～⑦	プレス部品の生産設計 ①～③	プレス金型設計基礎 ①～⑦	プレス機械と周辺装置 ①～⑤
2時限						
3時限						
4時限				⑧～⑨ 熱処理工場見学		
5時限						

日	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26
曜日	月	火	水	木	金	土
1時限	金型の摩耗,破損解析 ①～⑤	プレス金型構想設計と金型設計演習 ⑧～㉚				
2時限						
3時限						
4時限						
5時限						

実践プラスチック

日	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9
曜日	月	火	水	木	金	土
1時限	プラスチック技術概論 ①～⑤	プラスチック金型材料と熱処理・表面処理、加工法 ①～⑤	プラスチック材料 ①～⑤	成形不良発生要因とそのメカニズムおよび対策 ①～⑤	実践プラスチック金型設計基礎 ①～⑩	
2時限						
3時限						
4時限						
5時限						

日	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15	11/16
曜日	月	火	水	木	金	土
1時限	実践プラスチック金型設計基礎 ⑪～⑳		実践プラスチック金型設計演習 ①～⑳			
2時限						
3時限						
4時限						
5時限						

授業時間帯

特設講座 および プレスコース（基礎および実践）に適用。ただし 6/7、10/10 除く。

1時限	9:00～10:30
2時限	10:40～12:10
3時限	13:00～14:30
4時限	14:40～16:10
5時限	16:20～17:50

入門ユニットおよびプラスチックコース（基礎および実践）に適用ただし 7/3 は除く。

1時限	9:20～10:50
2時限	11:00～12:30
3時限	13:20～14:50
4時限	15:00～16:30
5時限	16:40～18:10

2024年度　日本工業大学　高度金型人材育成講座　申込書

FAX：03-3511-7594
Mail：info@nit-kanagata.com

オンラインによる受講については「受講形態選択」欄に ○‥等のチェックを入れて下さい。

特設講座	描く、伝える製図入門			37,000円（税別・教材費込み）	人	対面のみ
	対面のみ	10コマ	5/27～5/28	教材費1,000円含む		

金型入門・基礎ユニット

	科目名	1コマ@3600円	日時	受講料（教材費含む/税別）	申込人数	受講形態選択 OL＝オンライン	
	全科目受講：金型入門ユニット（プレス/プラ共通）26コマ　102,100円（税別・教材費込み）				人		
部分受講記入欄	金型技術者心得と価値創出 金型発注企業から見た必要とされる金型技術者、技術 金型ビジネス概論	10コマ	6/5～6/6	36,500円（教材費500円）	人	対面	OL
	金型の安全性と環境	3コマ	6/7	11,300円（教材費500円）	人	対面	OL
	金型仕上げ演習	13コマ	7/3～7/5	54,300円（教材費7,500円）	人	対面のみ	

※金型仕上げ演習については定員に限りがあるためユニット単位（26コマ）でのお申込みの方優先となります。

	全科目受講：金型基礎ユニット プレスコース 32コマ1式　117,700円（税別・教材費込み）				人		
部分受講記入欄	プレス金型概論	2コマ	6/7	7,200円（教材費 － 円）	人	対面	OL
	設計・製図基礎習得および演習	30コマ	6/10～6/15	110,500円（教材費2,500円）	人	対面のみ	
	全科目受講：金型基礎ユニット プラスチックコース 30コマ1式　110,500円（税別・教材費込み） 全科目受講,対面のみ	30コマ	6/10～6/15		人	対面のみ	

金型実践ユニット・プレス金型コース

	全科目受講：金型実践ユニットプレスコース 60コマ1式　221,000円（税別・教材費込み）				人		
部分受講記入欄	プレス加工の基礎	8コマ	10/7～10/8	29,800円（教材費1,000円）	人	対面	OL
	プレス金型の要素技術	座学 7コマ・工場見学 2コマ　計 9コマ	10/8～10/9 10/10（見学）	26,200円（教材費1,000円） 7,200円（教材費 － 円）	人	対面 対面のみ	OL ←見学
	プレス部品の生産設計	3コマ	10/10	11,800円（教材費1,000円）	人	対面	OL
	プレス機械と周辺装置	5コマ	10/12	19,000円（教材費1,000円）	人	対面	OL
	1週間空きます。						
	プレス金型の摩耗、破損解析	5コマ	10/21	19,000円（教材費1,000円）	人	対面のみ	
	プレス金型設計演習	概論・基礎5コマ 応用25コマ計30コマ	10/11 10/22～10/26	109,000円（教材費1,000円）	人	対面 対面のみ	OL

「要素技術」は工場見学を含む7コマ受講が原則ですが、オンライン受講の場合は「工場見学」の2コマ分は外せます。

金型実践ユニット・プラスチック金型コース

	全科目受講：金型実践ユニットプラスチックコース 60コマ　221,000円（税別・教材費込み）				人	対面のみ
部分受講記入欄	プラスチック技術概論	5コマ	11/4	19,000円（教材費1,000円）	人	
	プラスチック金型材料と熱処理・表面処理、加工法	5コマ	11/5	19,000円（教材費1,000円）	人	
	プラスチック材料	5コマ	11/6	19,000円（教材費1,000円）	人	
	成形不良発生要因とそのメカニズムおよび対策	5コマ	11/7	19,000円（教材費1,000円）	人	
	実践プラスチック金型設計基礎	20コマ	11/8～11/12	73,000円（教材費1,000円）	人	
	実践プラスチック金型設計演習	20コマ	11/13～11/16	73,000円（教材費1,000円）	人	

会社名		受講者氏名（ふりがな必須）	
住所	〒		
担当者	部署 氏名 上長、総務ご担当者、社長様等申込みの主体となられる方をご記入ください。	割引適用： 日本金型工業会 ご加盟の有・無	
連絡先	TEL　　FAX メール	人材開発支援 助成金の 利用予定	
通信欄			

本書面に受講ユニット等をご記入の上、03-3511-7594へFAX　もしくはinfo@nit-kanagata.comへ送信して下さい。
本学よりの請求書は、お申し込み締め切り日（開講の1か月前）以降、御社へ郵送いたします。

https://www.nit-kanagata.com

（公式窓口）
日本工業大学 生涯学習センター 金型教育係
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4－1
（連絡先）
日本工業大学 金型教育事業部 東京事務所
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-5
日本工業大学 専門職大学院 7F
Mail : info@nit-kanagata.com
TEL：090-1997-7001（担当者直通）
FAX：03-3511-7594